

| | | | | | | | |
|---|---|-----|------|---------|----------------------------|------------|----------------|
| 授業科目(ナンバリング) | 博物館実習 A (CB220) | | | 担当教員 | 落合 知子 | | |
| 展開方法 | 実習 | 単位数 | 1 単位 | 開講年次・時期 | 2 年・集中 | 必修・選択 | 選択 |
| 授業のねらい | | | | | | | アクティブ・ラーニングの類型 |
| 2泊3日程度の実習研修を通して、地域のさまざまな分野の博物館・美術館を見学することにより、資料の保存管理、調査研究、展示他の教育普及活動などの機能や博物館運営などについて、幅広く実地に学ぶ。 | | | | | | | ⑥⑦⑩ |
| ホスピタリティを構成する能力 | 学生の授業における到達目標 | | | | 評価手段・方法 | 評価比率 | |
| 専門力 | 博物館活動を理解し、地域における博物館の意義を説明できる。 | | | | 見学態度 | 10% | |
| 情報収集、分析力 | | | | | | | |
| コミュニケーション力 | 博物館実習全般にわたり、協調性ある態度で積極的に調査・見学を行うことができる。 | | | | 協調性 | 30% | |
| 協働・課題解決力 | 見学実習館について事前学習・見学をもとに自分の考えや意見を、ミーティング(報告発表会)で適格に述べるができる。 | | | | プレゼンテーション・ディスカッション レポート | 20% 40% | |
| 多様性理解力 | | | | | | | |
| 出席 | | | | | 受験要件 | | |
| 合計 | | | | | 100% | | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| 実習研修前の事前学習と見学中の態度、ミーティングでの発表、ディスカッションへの参加、および実習終了後の課題レポートの提出から総合的に評価する。 フィードバックは、レポートに対する評価について、ポートフォリオを通じて実施する。 | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | |
| 本実習は指導教員引率のもとに、2泊3日で博物館を集中的に見学する実習研修と事前事後学習で構成される。実習は夏・春季等の休暇期間中に行う。事前学習として「博物館調査票」に記載された情報を調べておく。見学中は事前学習の復習、新たな発見をメモし、発表素材として周辺情報やパンフレット等を収集する。終了後、見学レポートを執筆・提出させる。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。 | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | |
| 指定図書：日本博物館協会編『全国博物館総覧』 | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| 見学館の中には、貴重な資料が保存されている収蔵庫や、作業室など、バックヤードを見学する館もあるため、十分留意した態度、服装で臨むこと。 見学実習費（移動費・宿泊費・観覧料等）として約 30,000 円程度が必要である。 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|-----|------|---------|----------------------------|------------|----------------|
| 授業科目(ナンバリング) | 博物館実習 A (CB220) | | | 担当教員 | 小泉 優莉菜 | | |
| 展開方法 | 実習 | 単位数 | 1 単位 | 開講年次・時期 | 2 年・集中 | 必修・選択 | 選択 |
| 授業のねらい | | | | | | | アクティブ・ラーニングの類型 |
| 2泊3日程度の実習研修を通して、地域のさまざまな分野の博物館・美術館を見学することにより、資料の保存管理、調査研究、展示他の教育普及活動などの機能や博物館運営などについて、幅広く実地に学ぶ。 | | | | | | | ⑥⑦⑩ |
| ホスピタリティを構成する能力 | 学生の授業における到達目標 | | | | 評価手段・方法 | 評価比率 | |
| 専門力 | 博物館活動を理解し、地域における博物館の意義を説明できる。 | | | | 見学態度 | 10% | |
| 情報収集、分析力 | | | | | | | |
| コミュニケーション力 | 博物館実習全般にわたり、協調性ある態度で積極的に調査・見学を行うことができる。 | | | | 協調性 | 30% | |
| 協働・課題解決力 | 見学実習館について事前学習・見学をもとに自分の考えや意見を、ミーティング(報告発表会)で適格に述べるができる。 | | | | プレゼンテーション・ディスカッション レポート | 20% 40% | |
| 多様性理解力 | | | | | | | |
| 出席 | | | | | 受験要件 | | |
| 合計 | | | | | 100% | | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| 実習研修前の事前学習と見学中の態度、ミーティングでの発表、ディスカッションへの参加、および実習終了後の課題レポートの提出から総合的に評価する。 フィードバックは、レポートに対する評価について、ポートフォリオを通じて実施する。 | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | |
| 本実習は指導教員引率のもとに、2泊3日で博物館を集中的に見学する実習研修と事前事後学習で構成される。実習は夏・春季等の休暇期間中に行う。事前学習として「博物館調査票」に記載された情報を調べておく。見学中は事前学習の復習、新たな発見をメモし、発表素材として周辺情報やパンフレット等を収集する。終了後、見学レポートを執筆・提出させる。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。 | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | |
| 指定図書：日本博物館協会編『全国博物館総覧』 | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| 見学館の中には、貴重な資料が保存されている収蔵庫や、作業室など、バックヤードを見学する館もあるため、十分留意した態度、服装で臨むこと。 見学実習費（移動費・宿泊費・観覧料等）として約 30,000 円程度が必要である。 | | | | | | | |